令和6年度（1学年用）年間授業計画　都立農業高等学校全日制課程

教科	家庭	単位数	年間授業時数(予定：単位数×35時間)
科目	生活産業基礎	2	70時間

対象学年組　第1学年4組

使用教科書　生活産業基礎（実教出版）

科目：「生活産業基礎」の目標，評価方法

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目標	ファッション産業や関連する職業について体系的・系統的に理解する。	ファッション産業に関連する課題を見出し、ファッション産業を担う職業人として合理的かつ創造的に解決するしようとする。	適切な進路選択と専門性の向上を目指して自ら学び、社会貢献に主体的・協働的に取り組もうとする。
評価方法	定期テスト 小テスト レポート ワークシート	定期テスト（論述問題など） 小テスト レポート ワークシート 観察（学習状況，討論・発表など） 学習の振り返り	ワークシート 観察（学習状況，討論・発表、行動観察、授業中の発言など） 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	単元1	4	中間	【単元名】 ・生活産業基礎を学ぶ 【目標】 社会の変化と衣生活の変化について理解する。 生活産業に求められるもの、スペシャリストに求められるものを考える。	(1)生活産業を学ぶにあたって エ：生活産業の意義と役割 (2)ライフスタイルの変化と生活産業 ア：社会の変化とライフスタイルの多様化 ・教材 ・一人1台端末の活用　等						【知識・技能】 ・社会の変化について理解している。 ・衣生活の変化について理解している。 【思考・判断・表現】 生活産業とは何か、生活産業を担うスペシャリストに求められるものについて分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様なライフスタイルを尊重しようとしている。
1	単元2	8	中間	【単元名】 ・衣生活関連の職業と資格 ・職業と自己実現 【目標】 社会の課題とその解決のために、ファッション産業が果たしている役割について理解する。 職業人に求められるマネジメントの重要性について考える。 ・ファッション産業に関わる職業人に求められる資質・能力と役割や責任について理解する。 社会貢献に向けて成長しようとしている。	(1)生活産業を学ぶにあたって ア：働くことの社会的な意義と役割 イ：職業人に求められる倫理観 (4)生活産業と職業 (5)職業生活と自己実現 ・教材 ・一人1台端末の活用　等						【知識・技能】 社会の課題とファッション産業が果たしている役割を理解している。 ・ファッション産業に関わる職業人に求められる資質・能力と役割や責任について理解している。 【思考・判断・表現】 職業人に求められるマネジメントの重要性について分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ファッション産業に関わる職業人に求められる資質・能力を伸ばし、社会に貢献しようとしている。
1	単元3	6	期末	【単元名】 ・ファッション産業の構造 【目標】 ファッションビジネスの流れと最近の動向について理解する。 日本の伝統産業について理解する。	(1)生活産業をマナぶにあたって ウ：産業構造の変化と課題 (2)ライフスタイルの変化と生活産業 イ：生活産業の発展と伝統産業 ・教材 ・一人1台端末の活用　等						【知識・技能】 ファッション産業の構造とそれぞれの役割、またその変遷と課題について理解している。 【思考・判断・表現】 日本の伝統産業がなぜ海外で高く評価されているのか、分析している。 現代のファッション産業が抱える課題について考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ファッション産業が抱える課題について協働的に課題を解決しようとしている。

1	単元4	6	期末	【単元名】 ・消費と消費者行動 【目標】 消費者のニーズの多様化と消費者調査の方法、消費者の意思決定のプロセス、ファッション感性による消費者分類の方法について理解する。	⑶ライフスタイルの変化に対応した商品・サービスの提供 ア：消費者ニーズの把握 ・教材 ・一人1台端末の活用　等					【知識・技能】 消費者のニーズの多様化の傾向とファッション産業が実施しているニーズの把握方法について理解している。 消費者が購入を決める心理的段階について理解している。 ファッション感性による消費者分類の方法について理解している。 【思考・判断・表現】 日常生活を振り返り、学習内容がどのような場面で生かされているか分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 購入する側から販売する側へと職業人として視点を意識的に移そうとしている。
2	単元5	14	中間	【単元名】 ・ファッションマーケティング ・マーチャンダイジング 【目標】 ブランディングの意義と顧客満足のための商品計画について理解する。	⑷生活産業と職業 イ：衣生活産業 ・教材 ・一人1台端末の活用　等					【知識・技能】 ブランドのターゲットとコンセプトの設定、マーケティング戦略、マーケットセグメンテーションの目的とについて理解している。 商品の開発プロセス、品揃え計画、価格設定、シーズン計画、売場構成などマーチャンダイジングの役割について理解する。 【思考・判断・表現】 ビジネス用語を蓄積し学習や生活に生かしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業で課された問いに対し協働的に課題を解決しようとしている。
2	単元6	14	期末	【単元名】 ・ファッション商品知識 ・デザインの定義と特性 ・ファッションコーディネーション 【目標】 アパレル産業（生産者）の視点を通してファッション商品をデザインやコーディネーションの視点から理解する。	⑷生活産業と職業 イ：衣生活産業 ・教材 ・一人1台端末の活用　等					【知識・技能】 ファッション商品について服種やアイテム、ディテールの違いを理解している。デザインの構成要素を理解している。コーディネーションの要件を理解している。 【思考・判断・表現】 ファッション商品の詳細を理解し、生活に生かしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業で課された問いに対し協働的に課題を解決しようとしている。
3	単元7	18	学年末	【単元名】 流通 【目標】 小売産業の視点を通して、ファッション産業について理解する。	⑷生活産業と職業 イ：衣生活産業 ・教材 ・一人1台端末の活用　等					【知識・技能】 小売産業とその流通の仕組みについて理解している。 【思考・判断・表現】 単独店やチェーン店といった業態の違いによる仕組みの違いを、身近な生活の中から分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業で課された問いに対し協働的に課題を解決ししようとしている。

令和6年度（1学年用）年間授業計画　都立農業高等学校全日制課程

教科	家庭	単位数	年間授業時数(予定:4単位数×35時間)
科目	ファッション造形基礎	4	140時間

対象学年組　第1学年　4　組

使用教科書　ファッション造形基礎（実教出版）

科目:「ファッション造形基礎」の目標，評価方法

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目標	被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについて体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする。	被服製作やデザインに関する課題を発見し、ファッションの造形を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	衣生活の充実向上を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
評価方法	定期テスト 小テスト 縫製の基礎練習の完成度 作品の完成度	定期テスト 小テスト 縫製の基礎練習の取り組み 作品への取り組み	ワークシート 観察（学習状況，討論・発表、行動観察、授業中の発言など） 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
1	単元1	20	中間	【単元名】 洋服の製作 【目標】 製作の基礎の学習を通して、縫製に関する基礎的な事項を理解し技法を習得する。	製作のための用具 縫製の基礎 ・適切な縫い目 ・基本の縫い方 ・縫い代の始末 ・折代の始末 ・ﾎﾞﾀﾝﾎｰﾙ・ﾎﾞﾀﾝ・ｽﾅｯﾌﾟつけ ・ﾎｯｸﾉつけ方 ・ミシンの調整						【知識・技能】 製作のための用具、縫製の基礎を理解している。 【思考・判断・表現】 適切な道具を用い効率的な作業をしようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ファッション造形の基礎的な能力を習得に取り組み上達しようとしている。
1	単元2	28	期末	【単元名】 衣服の構成 衣服の素材 【目標】 衣服の構成、衣服の素材の学習を通して、人体と衣服、立体構成と平面構成、衣服素材の性能と選択について理解する。	人の体と衣服 ・人体計測 ・体型の特徴 ・動作による人体寸 法・体系の変化 立体構成と平面構成 衣服材料の選択						【知識・技能】 人体の構造や機能動作時の変化に対するゆるみ、性別や年齢による体型の変化などを理解する。 立体構成と平面構成について理解する。 平面製図について理解をする。 【思考・判断・表現】 心地よい衣服を作るためには体型の変化などを考慮することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ファッション造形の基礎的な能力を習得に取り組み上達しようとしている。
2	単元3	60	中間・期末	【単元名】 洋服の製作 【目標】 スカートの製作を通して衣服材料の選択、構成、縫製について理解する。	スカートの基本の形製図 縫製						【知識・技能】 スカートの製作のため知識、縫製を理解している。 【思考・判断・表現】 適切な道具を用い効率的な作業をしようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ファッション造形の基礎的な能力を習得に取り組み上達しようとしている。 作品を着装し表現ができる。
3	単元4	32	中間・期末	【単元名】 洋服の製作 【目標】 ブラウスの製作を通して衣服材料の選択、構成、縫製について理解する。	ブラウスの基本の形 原型製図 製図の展開 縫製						【知識・技能】 ブラウスの製作のため知識、縫製を理解している。 【思考・判断・表現】 適切な道具を用い効率的な作業をしようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ファッション造形の基礎的な能力を習得に取り組み上達しようとしている。 作品を着装し表現ができる。

令和6年度（1学年用）年間授業計画　都立農業高等学校全日制課程

教科	家庭	単位数	年間授業時数(予定：単位数×35時間)
科目	ファッションデザイン（手芸領域）	1	35時間

対象学年組　第1学年4組

使用教科書　ファッションデザイン（文部科学省）

科目：「ファッションデザイン（手芸領域）」の目標，評価方法

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目標	デザインを構成する要素として、基礎的な手芸技法を理解し、実践することができる。	デザインの特徴に合わせ、適切な刺繍技法を用いることができる。	協働的に課題を解決しようとする。
評価方法	定期テスト 小テスト	製作作品の取り組み 宿題への取り組み	生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
1	単元1	12	中間・期末	【単元名】 フランス刺繍 【目標】 フランス刺繍を通して、技法を身に付けるとともに、意匠について理解する。	フランス刺繍に用いられる道具の適切な扱い方、適切な力加減等						【知識・技能】 道具の適切な扱い方について理解している。 適切な針目や力加減で刺繍できる。 【思考・判断・表現】 布の厚さや模様の特徴にあわせて、適切に糸の本数や針目の大きさを調整して作品を製作できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に練習に取り組み、上達しようとしている。
2	単元2	15	中間・期末	【単元名】 ビーズ刺繍 【目標】 フランス刺繍を通して、技法を身に付けるとともに、意匠について理解する。	ビーズ刺繍に用いられる道具の適切な扱い方、適切な力加減等						【知識・技能】 道具の適切な扱い方について理解している。 適切な針目や力加減で刺繍できる。 【思考・判断・表現】 布の厚さや模様の特徴にあわせて、適切に糸の本数や針目の大きさを調整して作品を製作できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に練習に取り組み、上達しようとしている。
3	単元3	8	中間・期末	【単元名】 クロスステッチ 【目標】 フランス刺繍を通して、技法を身に付けるとともに、意匠について理解する。	クロスステッチ刺繍に用いられる道具の適切な扱い方、適切な力加減等						【知識・技能】 道具の適切な扱い方について理解している。 適切な針目や力加減で刺繍できる。 【思考・判断・表現】 布の厚さや模様の特徴にあわせて、適切に糸の本数や針目の大きさを調整して作品を製作できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に練習に取り組み、上達しようとしている。

令和6年度（1学年用）年間授業計画　都立農業高等学校全日制課程

教科	服飾	単位数	年間授業時数(予定：単位数×35時間)
科目	ファッションデザイン（色彩）	1	35時間

対象学年組　第1学年　　4　　組

使用教科書　ファッション色彩〔Ⅰ〕

科目：「ファッションデザイン（色彩）」の目標，評価方法

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目標	色彩理論の学習を通して、色彩のはたらきを理解し、色彩の効果を考えるとともに、身の回りの色彩活用に関心を持とうとする。	色彩技術の学習を通して、色彩の配色構成を考えるとともに、配色の調和感を分析し、学習内容を被服製作に活用することができる。	ファッション産業と色彩の関係性を学ぶことを通して、実社会での効果的な活用を学ぶとともに、相手の好みを尊重しようとし、協働的に色彩に関わる課題を解決しようとする。
評価方法	定期テスト ワークシート	定期テスト 小テスト ワークシート	ワークシート 観察（学習状況，討論・発表、行動観察、授業中の発言など） 学習の振り返り

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	単元1	12	中間・期末	【単元名】 色彩理論 【目標】 色彩理論の学習を通して、色彩の働きを理解し、色彩の効果を考えるとともに、身の回りの色彩活用に関心を持とうとする。	色の三属性 色の成り立ち 光と色 三原色と混色 視覚と色 色彩心理とは 色の見え 色彩の感情効果 色彩の連想						【知識・技能】 色彩のはたらきを理解している。 色の三属性を理解している。 色の見え方を理解している。 【思考・判断・表現】 混色による色づくりを分析できる。 色による感情効果を学習や生活に生かしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 色彩から連想される他の意見を尊重しようとしている。
2	単元2	15	中間・期末	【単元名】 色彩の技術 【目標】 色彩技術の学習を通して、色彩の配色構成を考えるとともに、配色の調和感を分析し、学習内容を被服製作に活用することができる。	配色の基礎 色彩構成の基礎						【知識・技能】 類似の調和と対照の調和を理解している。 色相やトーンを基準にした配色を理解している。 【思考・判断・表現】 色彩構成を立案している。 色彩構成のテクニックを学習や生活に生かしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 色彩構成の分類について、協働的に課題を解決しようとしている。
3	単元3	8	中間・期末	【単元名】 ﾌｧｯｼｮﾝ産業と色彩 【目標】 ファッション産業と色彩の関係性を学ぶことを通して、実社会での効果的な活用を学ぶとともに、相手の好みを尊重しようとし、協働的に色彩に関わる課題を解決しようとする。	ファッション産業における色彩の役割 企画段階の色彩・生産段階の色彩 流通段階の色彩 講師を招いての演習 デザイン画						【知識・技能】 ファッション産業と色彩の関係を理解する。 商品陳列と色彩の関係を理解する。 【思考・判断・表現】 自分や相手に似合う色を提案している。 パーソナルカラーの知識を応用してデザインしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 パーソナルカラーの特別実習を通して、相手に似合う色彩を探すことに貢献しようとしている。

令和6年度（1学年用）年間授業計画　都立農業高等学校全日制課程

教科	家庭	単位数	年間授業時数(予定：単位数×35時間)
科目	生活産業基礎	2	70時間

対象学年組　第1学年5組

使用教科書　実教出版「生活産業基礎」

科目：「生活産業基礎」の目標，評価方法

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目標	生活と産業との関わりについて理解し、生活産業の職業に必要な知識と技術を身に付けている。	生活産業や関連する職業に関する課題を発見し、多角的・多面的に課題を捉えることができる。また、根拠を持って自身の意見を述べることができる。	生活産業や関連する職業への関心を高め、進路選択や希望進路の実現、専門性の向上を目指して主体的に学ぼうとする。他者と協働しながら、課題を解決しようとする。
評価方法	定期テスト 小テスト ワークシート レポート	定期テスト（論述問題など） 小テスト レポート ワークシート 観察（学習状況，討論・発表など） 学習の振り返り	ワークシート 観察（学習状況，討論・発表、行動観察、授業中の発言など） 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	題材名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	単元1	4	期末	【題材名】 生活産業基礎について 生活産業の意義と役割 【目標】 社会の変化や、産業構造の変化を理解し、生活産業の果たす役割を理解する。希望進路実現に向け、自分自身の現状と課題を明確にする。	・講義 ・グループワーク ・ワークシート ・一人1台端末 ・定期考査						【知識・技能】 生活産業の役割や、社会に果たす役割について理解している。 【思考・判断・表現】 産業構造の変化について課題を発見し、生活産業を担う職業人としてその解決法を立案している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活産業を担う職業人として生活産業の振興に主体的かつ協働的に貢献しようとしている。課題に進んで取り組み期日までに提出している。
1	単元2	6	期末	【題材名】 生活産業に関わる職業と資格 【目標】 生活産業にかかる職業について理解を深める。発表を通して、わかりやすく情報を発信する力を身につける。	・講義 ・グループワーク ・ワークシート ・一人1台端末 ・定期考査 ・調べ学習 ・発表						【知識・技能】 生活産業の種類や特徴、関連する職業について理解する。 【思考・判断・表現】 生活産業に関連する職業について情報を収集・整理したものを、他者に表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活産業に関連する職業に就くための課題を発見し、それをを解決しようとしている。また、自身の進路に必要なものを自覚し、今後の学習に生かそうとしている。課題に進んで取り組み期日までに提出している。
1・2	単元3	20	中間・期末	【題材名】 食生活とフードシステム 【目標】 食品製造業について理解を深める。第一次産業について学び、食材が手元に届くまでの流れを理解する。食を取り巻く問題について、課題を発見し、解決する。	・講義 ・グループワーク ・ワークシート ・一人1台端末 ・定期考査 ・調べ学習 ・発表						【知識・技能】 農水産業や食品卸売業、食品製造業、外食産業等の仕事内容や特徴、役割について理解している。 【思考・判断・表現】 食を取り巻く課題や現状を多角的な視点で捉え、課題について自身の考えをまとめ、他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 食に関する課題について主体的かつ協働的に解決しようとしている。課題と解決策を模索し、将来の職業に役立てようとする。

2	単元4	20	期末	【題材名】 ライフスタイルの変化に対応した商品・サービスの提供 【目標】 商品開発のプロセスを理解し、市場調査の方法や、サービスの企画、開発の方法を身に付ける。	・講義 ・グループワーク ・ワークシート ・一人1台端末 ・定期考査 ・発表						【知識・技能】 消費者のニーズを的確にとらえることの必要を理解している。商品を企画し、提供していく上で必要なマネジメントの手法、関係法規を理解している。 【思考・判断・表現】 消費者のニーズに対応した商品・サービスについて分析している。また、消費者のニーズを把握するための手法について主体的に構想し、実践・評価・改善し、考察したことを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ライフスタイルの変化に対応した商品・サービスの提供について自ら学び、生活産業の振興に貢献しようとしている。他者の意見や考えを尊重し、協働しながら課題に取り組むことができる。
2	単元5	10	期末	【題材名】 持続可能な食生活 【目標】 食を様々な観点で捉え、課題を見出し、主体的に考え課題を解決しようとする。自分の意見をわかりやすく発表する技術を身に付ける。	・講義 ・グループワーク ・ワークシート ・一人1台端末 ・定期考査 ・発表						【知識・技能】 持続可能な食生活とは何か説明できる。持続可能な食生活を営むために行われている取り組みについて理解している。 【思考・判断・表現】 食生活を様々な観点で模索し、解決策を考え、調べた内容や自分の意見を的確に発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 持続可能な食生活の取り組みについて、自ら学び、生活産業を営むものとしてどのように働いていくか将来を展望している。他者の意見や考えを尊重し、協働しながら課題に取り組むことができる。集めた情報を進路や生活に生かそうとしている。
3	単元6	10	期末	【題材名】 職業選択と自己実現 【目標】 職業生活にかかる制度や社会保障について理解する。また、キャリアプランを設計し、希望進路実現に向け今後の見通しを立てる。	・講義 ・グループワーク ・ワークシート ・一人1台端末 ・定期考査 ・発表						【知識・技能】 職業生活と自己実現について理解している。 【思考・判断・表現】 生活産業に関わる職業人に求められる資質・能力・役割・責任・職業資格などについて具体的に述べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活産業に関わる職業人に求められる資質・能力・役割・責任・職業資格などに関する課題を解決しようとしている。課題に進んで取り組み期日までに提出している。

令和6年度（1学年用）年間授業計画　都立農業高等学校全日制課程

教科	家庭	単位数	年間授業時数(予定：単位数×35時間)
科目	生活産業情報	2	70時間

対象学年組　第1学年　　5　　組

使用教科書　実教出版「生活産業情報」、実教出版「30時間でマスターOffice2021」

科目：「生活産業情報」の目標，評価方法

	【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目標	生活産業の各分野における情報の意義や役割、情報及び情報技術を活用する方法について、体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	生活産業や関連する職業に関する課題を情報及び情報技術を活用して発見し、生活産業を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する方法を蓄積することができる。	生活産業における情報および情報技術の活用や専門性の向上を目指して自ら学び、生活の質生活産業の振興へ主体的に取り組み貢献しようとする。また他者と協働しながら課題に取り組んでいる。
評価方法	定期テスト（知識・技術） レポート ワークシート	定期テスト（論述問題） レポート ワークシート 観察（学習状況，討論・発表など） 学習の振り返り	ワークシート 観察（学習状況，討論・発表、行動観察、授業中の発言など） 生徒による自己評価 学習の振り返り

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	単元1	2	期末	【単元名】 「生活産業情報」とは 【目標】 授業内容、PC室の使用法について理解する。	・授業説明、PC教室の使用方法説明、コンピュータの習熟度や経験、現在の技術や知識についての調査 ・基本操作 ・教科書2冊、ファイル ・一人1台端末の活用						【知識・技術】 授業内容、PC室の利用方法について理解している。 【思考・判断・表現】 学期ごとの学習計画を自身で考えようとしている。 自身のコンピュータの習熟度を理解し、調査用紙に空欄なく記入する。 【主体的に学習に取り組む態度】 疑問点や不明点を明確し、作業を協働的に行い、課題を解決しようとしている。家庭にPCのある場合は自主学習や生活に生かそうとしている。
1	単元2	4	期末	【単元名】 情報化の進展と生活産業 【目標】 事例を通して、情報機器や情報通信ネットワークについて理解する。	・講義 ・討論・発表 ・教科書2冊、ファイル ・一人1台端末の活用						【知識・技術】 情報通信ネットワークを活用した生活情報の送受信が進展してきたことと、今後予想される情報社会についての概要を理解している。 【思考・判断・表現】 情報化が進展したことによる私たちの生活や産業における変化と、その問題点について理解したうえで、その解決に向けて考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報社会に興味、関心をもって学習し情報化の進展に伴う課題について理解し、自らまとめようとしている。
1	単元3	6	期末	【単元名】 情報モラルとセキュリティ 【目標】 情報に関する法規、情報モラル、情報通信ネットワークの仕組み及びセキュリティ管理の方法や重要性について理解し、情報モラルやセキュリティ管理に関する課題の解決に向けて考察し、工夫しようとしている。	・講義 ・動画視聴 ・教科書2冊、ファイル ・一人1台端末の活用						【知識・技術】 情報に関する法規、情報モラル、情報通信ネットワークの仕組み及びセキュリティ管理について理解している。情報通信ネットワークに関する技術を身につけようとしている。 【思考・判断・表現】 情報モラルやセキュリティ管理の課題解決に向けて、操作や技術をどのように活用するか、考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報に関する法規、情報モラルやセキュリティ管理に興味、関心を示し、協働的に意見を出し合うことができる。

1	単元4	8	期末	【単元名】 文書作成ソフトの利用 【目標】文書作成ソフトの概要を理解し、操作方法を習得する。 文字入力を確実に行う。文章作成や表作成ができるようになり、生活産業分野に役立てようとしている。	・講義 ・操作 ・教科書2冊、ファイル ・一人1台端末の活用					【知識・技術】 基本的な文書作成ソフトの機能の名称や操作を理解し、文章作成や表作成では操作技術を活用している。 【思考・判断・表現】 操作や技術をどのように活用するかを考えて、文書や表を作成しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 理解した操作や技術に興味、関心を示し、作業を協働的に行い、時間内に授業課題を終えることができる。
1	単元5	7	期末	【単元名】 生活産業に関連した情報デザイン 【目標】食生活分野テーマの応用実習を通し、食生活分野について、テーマを設定し、関連した内容の情報を収集し、文書作成ソフトを用いて操作することができる。	・講義 ・操作 ・教科書2冊、ファイル ・一人1台端末の活用					【知識・技術】 食生活分野について、テーマを設定し、文書作成ソフトを操作し、情報を伝えようとしている。 【思考・判断・表現】 食生活に関連した内容の情報を収集している。 【主体的に学習に取り組む態度】 食生活分野について、操作や技術に興味、関心を示し、作業を協働的に行おうとしている。
2	単元6	7	期末	【単元名】表計算ソフト1 【目標】表計算ソフトを使用し、基本操作や機能を理解し、操作技術を身に付けて、今後の生活に役立てようとしている。	・講義 ・操作 ・教科書2冊、ファイル ・一人1台端末の活用					【知識・技術】 基本的な表計算ソフトの機能の名称や操作を理解し、操作技術を身につけようとしている。 【思考・判断・表現】 どのようなときにその機能を活用するのか、操作や技術を考えて、活用している。 【主体的に学習に取り組む態度】 表計算ソフトの機能や操作、技術に興味、関心を示し、作業を協働的に行い、時間内に授業課題を終えることができる。
2	単元7	10	期末	【単元名】表計算ソフト2 【目標】表計算ソフトを使用し、基本操作や機能を活用し、関数の操作技術を身に付けて、今後の生活に役立てようとしている。	・講義 ・操作 ・教科書2冊、ファイル ・一人1台端末の活用					【知識・技術】 基本的な表計算ソフトの機能の名称や操作を活用し、基本的な関数の操作技術を理解し、身につけようとしている。 【思考・判断・表現】 関数の機能をどんなときに活用するのかを考えて、操作技術を活用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 表計算ソフトの関数の機能や操作、技術に興味、関心を示し、作業を協働的に行い、時間内に授業課題を終えることができる。
2	単元8	10	期末	【単元名】表計算ソフト3 【目標】表計算ソフトの基本操作や機能や基本的な関数の操作技術を身に付け、関数の検索の機能を今後の生活に役立てようとしている。	・講義 ・操作 ・教科書2冊、ファイル ・一人1台端末の活用					【知識・技術】 基本的な表計算ソフトの機能の名称や操作を理解し、検索の機能や操作技術を身につけようとしている。 【思考・判断・表現】 どのようなときに検索機能を活用するのか、操作や技術を考えて、活用している。 【主体的に学習に取り組む態度】 表計算ソフトの関数の検索機能や操作、技術に興味、関心を示し、作業を協働的に行い、時間内に授業課題を終えることができる。
2	単元9	3	期末	【単元名】プログラミング 【目標】ぷよぷよを使ったプログラミン教育用ソフトを使用し、プログラミングの概要を理解し、簡単な操作をできるようにする。	・講義 ・操作 ・教科書2冊、ファイル ・一人1台端末の活用					【知識・技術】 プログラム言語の種類と特性について理解し，プログラムを作成する技術と，複数のプログラムを統合する技術を身につけようとしている。 【思考・判断・表現】 プログラミングの操作や技術を考えて、活用しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 プログラミングの機能や操作、技術に興味、関心を示し、作業を協働的に行い、時間内に授業課題を終えることができる。

3	単元10	7	期末	【単元名】プレゼンテーションソフト1 【目標】 情報発信の手段を理解し、プレゼンテーション資料の作成方法について学び、機能や操作を身につけようとしている。	・講義 ・操作 ・教科書2冊、ファイル ・一人1台端末の活用						【知識・技術】 様々なメディアの特性とコミュニケーション手段の特徴を理解し、情報コンテンツ作成に関係する機能や技術を身につけようとしている。 【思考・判断・表現】 目的や対象に応じたコミュニケーションの方法や情報デザインについて課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活産業におけるコミュニケーションと情報デザインについて自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
3	単元11	2	期末	【単元名】プレゼンテーションソフト2 【目標】 プレゼンテーションソフトの基本操作を活用して個性を生かした資料を作成し、資料を用いて情報発信をする。	・講義 ・操作 ・教科書2冊、ファイル ・一人1台端末の活用						【知識・技術】 様々なメディアの特性とコミュニケーション手段の特徴を理解し、情報コンテンツ作成に関係する機能や技術を身につけようとしている。 【思考・判断・表現】 目的や対象に応じたコミュニケーションの方法や情報デザインについて課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活産業におけるコミュニケーションと情報デザインについて自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
3	単元12	4	期末	【単元名】プレゼンテーションソフト3まとめ 【目標】 クラスのプレゼンテーション発表を通して、情報発信について考察し、今後の情報発信に向けて改善をしようとしている。	・講義 ・操作 ・教科書2冊、ファイル ・一人1台端末の活用						【知識・技術】 個々で情報コンテンツ作成をする上で、関係する機能や技術を学び、新たに身につけようとしている。 【思考・判断・表現】 他者のプレゼンテーションを視聴することで、目的や対象に応じたコミュニケーションの方法や情報デザインについて課題の意見交換を行い、その解決に向けて考察しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 プレゼンテーション発表の企画を自ら役割を決めて行い、生活産業におけるコミュニケーションと情報デザインについて、今後の生活の質の向上と社会の発展に向けて、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

令和6年度（1学年用）年間授業計画　都立農業高等学校全日制課程

教科	家庭	単位数	年間授業時数(予定：単位数×35時間)
科目	調理・調理実習	4	140時間

対象学年組　第1学年　5組

使用教科書　新 調理師養成教育全書 必修編　第4巻 調理理論と食文化概論、第5巻 調理実習

科目：「調理・調理実習」の目標，評価方法

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目標	調理の基礎、献立作成及び様式別調理などについて体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けている。	食生活の現状から調理に関する課題を発見し、調理を通して食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	調理の面から食生活の充実向上を目指して自ら学び、創造的な調理に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
評価方法	定期テスト 実技試験 ワークシート	定期テスト（論述問題など） ワークシート 観察（学習状況、討論・発表など） 学習の振り返り	調理ノート 観察（学習状況、討論・発表、行動観察、授業中の発言など） 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り、出席状況

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1・2	単元1	100	中間・期末	【単元名】 （1）調理の基礎 【目標】 調理の基礎的な理論として，調理の目的を理解できるようにした上で，熱源及び調理機器，加熱操作，非加熱操作などの調理操作の方法と特徴，代表的な食品の調理上の性質を理解できるようにするとともに，調理への関心を高め，創造的な調理に主体的かつ協働的に取り組むことができるようにする。	ア調理の目的 イ熱源及び調理機器 ウ調理の種類と基本操作 エ食品の性質 ・実習、講義 ・調理ノート ・定期テスト ・実技試験 ・振り返り						【知識・技能】 調理の基礎について理解し，関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 調理における課題を発見し，その解決に向けて考察し，工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 調理の基礎について自ら学び，創造的な調理に主体的かつ協働的に取り組んでいる。 ・調理ノートを期日までに提出することができる。 ・調理ノートは、必要事項を記入することができる。
3	単元2	20	中間・期末	【単元名】 （3）様式別の献立と調理 【目標】 日本料理，西洋料理について，代表的な料理の特徴と献立構成の基本を理解し，実習を通して，目的や条件に応じた献立作成と調理ができるようする。また，様式別の食器，食卓構成，食卓作法などについて関心を高め，創造的な調理に主体的かつ協働的に取り組むことができるようにする。	ア日本料理 イ西洋料理 ・実習、講義 ・調理ノート ・定期テスト ・実技試験 ・振り返り						【知識・技能】 様式別の献立と調理の特徴を理解し，関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 様式別の献立を調理する際の課題を発見し，その解決に向けて考察し，工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 様式別の献立と調理について自ら学び，創造的な調理に主体的かつ協働的に取り組んでいる。 ・調理ノートを期日までに提出することができる。 ・調理ノートは、必要事項を記入することができる。
3	単元3	20	中間・期末	【単元名】 （4）目的別・対象別の献立と調理 【目標】 日常食，行事食・供応食の食事など，目的や対象に応じた献立を作成し，適切な調理ができるようにするとともに，目的別・対象別の献立と調理への関心を高め，創造的な調理に主体的かつ協働的に取り組むことができるようにする。	ア日常食 イ行事食・供応食 ・実習、講義 ・調理ノート ・定期テスト ・実技試験 ・振り返り						【知識・技能】 目的別・対象別の献立と調理の特徴を理解し，関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 目的別・対象別の献立を調理する際の課題を発見し，その解決に向けて考察し，工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 目的別・対象別の献立と調理について自ら学び，創造的な調理に主体的かつ協働的に取り組んでいる。 ・調理ノートを期日までに提出することができる。 ・調理ノートは、必要事項を記入することができる。

令和6年度（1学年用）年間授業計画　都立農業高等学校全日制課程

教科	家庭科	単位数	年間授業時数(予定：単位数×35時間)
科目	食品	2	70時間

対象学年組　第1学年5組

使用教科書　全国調理師養成施設協会　調理師養成教育全書　2食品と栄養の特性

科目：「食品」の目標，評価方法

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目標	食品の分類とその特徴、食品の機能、食品の表示、食品の加工と貯蔵などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	食生活の現状から食品に関する課題を発見し、食品を適切に選択、活用して食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決することができる。	適切な食品の選択や活用の面から食生活の充実向上を目指して自ら学び、食品のもつ機能の展開に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
評価方法	定期テスト ワークシート	定期テスト（論述問題） レポート ワークシート 観察（学習状況，討論・発表など） 学習の振り返り	ワークシート 観察（学習状況，討論・発表、行動観察、授業中の発言など） 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	単元1	27	中間・期末	【単元名】 植物性食品とその加工品 【目標】 植物性食品の栄養的特徴、調理上の性質、利用法などを理解するとともに、植物性食品への関心を高め、植物性食品のもつ機能の展開に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 植物性食品のもつ栄養面の機能、嗜好面の機能及び生体調節面の機能を理解しているとともに、植物性食品の機能への関心を高め、植物性食品のもつ機能の展開に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	・指導事項 穀類、いもおよびでんぷん類、砂糖および甘味類、豆類、種実類、野菜類、果実類、きのこ類、藻類 ・教材 調理師養成全書必修編2、食品成分表 ・一人1台端末の活用　等						【知識・技能】 植物性食品の特徴を理解している。 植物性食品のもつ機能を理解している。 【思考・判断・表現】 植物性食品に関する課題を発見し、その解決に向けて考察している。 植物性食品のもつ機能を活用する上での課題を発見し、その解決に向けて考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 植物性食品の分類とその特徴について自ら学び、植物性食品のもつ機能の展開に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 植物性食品の機能について自ら学び、植物性食品のもつ機能の展開に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
2	単元2	22	中間・期末	【単元名】 動物性食品とその加工品 【目標】 動物性食品の栄養的特徴、調理上の性質、利用法などを理解するとともに、動物性食品への関心を高め、動物性食品のもつ機能の展開に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 動物性食品のもつ栄養面の機能、嗜好面の機能及び生体調節面の機能を理解しているとともに、動物性食品の機能への関心を高め、動物性食品のもつ機能の展開に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	・指導事項 魚介類、食肉類、卵類、乳類 ・教材 調理師養成全書必修編2、食品成分表 ・一人1台端末の活用　等						【知識・技能】 動物性食品の特徴を理解している。 動物性食品のもつ機能を理解している。 【思考・判断・表現】 動物性食品に関する課題を発見し、その解決に向けて考察している。 動物性食品のもつ機能を活用する上での課題を発見し、その解決に向けて考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 動物性食品の分類とその特徴について自ら学び、動物性食品のもつ機能の展開に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 動物性食品の機能について自ら学び、動物性食品のもつ機能の展開に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
3	単元3	15	中間・期末	【単元名】 その他の食品 【目標】 その他の食品の栄養的特徴、調理上の性質、利用法などを理解するとともに、その他の食品への関心を高め、その他の食品のもつ機能の展開に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 その他の食品のもつ栄養面の機能、嗜好面の機能及び生体調節面の機能を理解しているとともに、その他の食品の機能への関心を高め、その他の食品のもつ機能の展開に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	・指導事項 油脂類、菓子類、嗜好飲料類、調味料および香辛料類、調理加工食品類、ゲル状食品、特別用途食品、保健機能食品 ・教材 調理師養成全書必修編2、食品成分表 ・一人1台端末の活用　等						【知識・技能】 その他の食品の特徴を理解している。 その他の食品のもつ機能を理解している。 【思考・判断・表現】 その他の食品に関する課題を発見し、その解決に向けて考察している。 その他の食品のもつ機能を活用する上での課題を発見し、その解決に向けて考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 その他の食品の分類とその特徴について自ら学び、その他の食品のもつ機能の展開に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 その他の食品の機能について自ら学び、その他の食品のもつ機能の展開に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

3	単元4	2	中間・期末	【単元名】 食品の表示 【目標】 食品の表示について法規や制度と関わらせて理解しているとともに、各種食品の具体的な表示方法を理解し、関連する技術を身に付け、食品のもつ機能の展開に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	・指導事項 食品の表示 ・教材 調理師養成全書必修編2、食品成分表 ・一人1台端末の活用　等						【知識・技能】 食品の表示により提供される食品の情報を理解し、収集・整理できる。 【思考・判断・表現】 食品の表示を活用する上での課題を発見し、その解決に向けて考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 食品の表示について自ら学び、食品のもつ機能の展開に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
3	単元5	2	中間・期末	【単元名】 食品の加工と貯蔵 【目標】 食品の加工について、物理的加工、化学的加工及び微生物や酵素による加工の目的、方法及び成分の変化を理解するとともに、食品の貯蔵については、代表的な貯蔵の方法の原理と特徴の概要を理解し、食品の加工と貯蔵への関心を高め、食品のもつ機能の展開に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	・指導事項 食品の加工、食品の貯蔵 ・教材 調理師養成全書必修編2、食品成分表 ・一人1台端末の活用　等						【知識・技能】 食品の加工と貯蔵の特徴について理解し、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 食品の加工と貯蔵における課題を発見し、その解決に向けて考察すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 食品の加工と貯蔵について自ら学び、食品のもつ機能の展開に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
3	単元6	2	中間・期末	【単元名】 食品の生産と流通 【目標】 多様化する食品の生産と食料需給の概要を理解するとともに、代表的な食品の流通機構の概要を理解している。また、食品と生産と流通への関心を高め、食品のもつ機能の展開に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	・指導事項 食品の国内生産と輸入、食品の流通 ・教材 調理師養成全書必修編2、食品成分表 ・一人1台端末の活用　等						【知識・技能】 食品の生産と流通について理解している。 【思考・判断・表現】 食品の生産と流通における課題を発見し、その解決に向けて考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 食品の生産と流通について自ら学び、食品のもつ機能の展開に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。